

さくしゃ いとう
作者：伊藤みのり

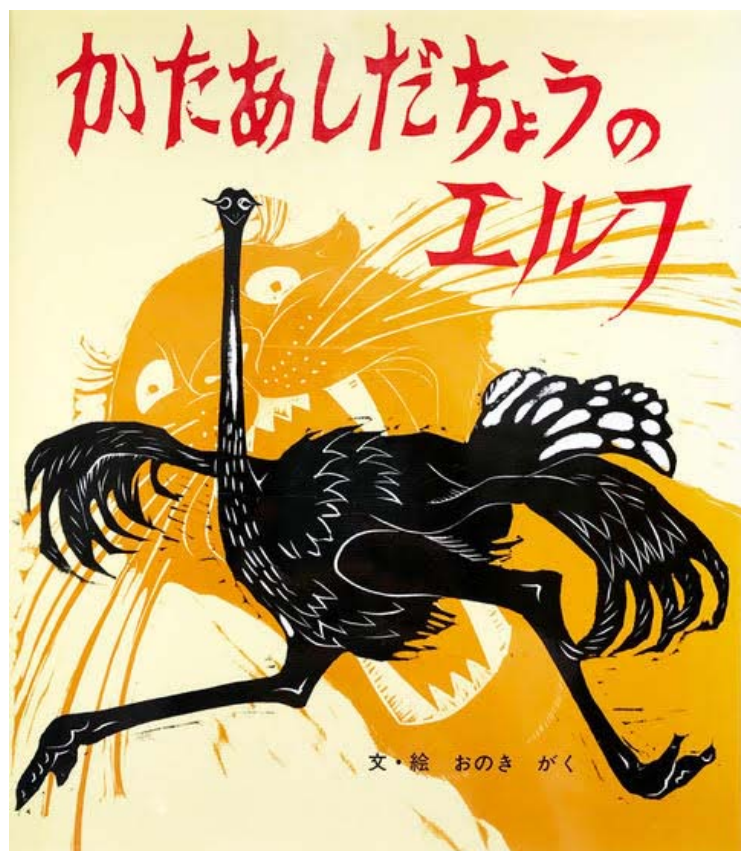
なごやげいじゅつだいがく
(名古屋芸術大学)

だいがくいん ねんせい
アートクリエイターコース大学院1年生)

さくひん き
作品タイトル：エールの樹

そざい かみ はりがね
(素材：紙、針金)

いっさつ
～伊藤みのりさんのこの一冊～
「かたあしだちょうのエルフ」
ぶん え
文・絵 おきのがく



ものがたり なかま なかま た
この物語は仲間おもしろいのだちょう「エルフ」が仲間を食べようとするもの
から自分のことはそっちのけで守るといってお話です。

かたあし
エルフは片足がありません。というのもライオンにねらわれた時に片足を
なくしてしまったのです。エルフの足はじまんの足で、走るのがとても速く
その足で動物の子どもたちと遊ぶのが大好きだったのです。

あし
でも、足をなくしてからは子どもたちと遊ぶことができなくなって、だんだん
エルフは忘れられていってしまいます。

ひ
そんなある日、くろひょうがなかまをねらっておそってきます。

かたあし なかま まも
片足しかないエルフは仲間を守ることができるのか・・・

つづ ほん よ
続きはぜひ本を読んでみてください。

ものがたり ははおや よ
この物語は母親に読んでもらったものです。

なかま まも きも はは こ まも おも きも
エルフの仲間を守りたい気持ちは、母が子どもを守りたいと思う気持ちに
にているからこの本を読んでくれたのかな、と今では思います。

みな いまよ ほん おとな いちどよ いま
皆さんも今読んでいる本を大人になってからもう一度読んでみると、今と
は違う見え方があるかもしれません。